※令和３年度以前入学生用

学校番号	３０１９

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自身の特性を活かした種目選択ができるため、能動的・積極的に運動に取り組むことを期待します。また、技術の向上だけでなく、運動を通して協調性、それぞれの運動が有する特性や魅力に応じて、その楽しさや喜びを深く味わおうとするとともに、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす等の資質を養ってください。

２　学習の到達目標

心と体を一体として捉え、健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう，公正，協力，責任，参画などに対する意欲をもち，健康･安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して，自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また，自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して，運動の特性に応じて勝敗を競ったり，攻防を展開したり，表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技術（技）の名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，練習や発表の仕方，スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法，スポーツの歴史，文化的特性や現代のスポーツの特徴，運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。
評価方法	受講態度、行動の観察レポート等	受講態度、行動の観察レポート等	実技テスト	受講態度、行動の観察レポート等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	ソフトボール 卓球 バドミントン ニュースポーツ	チームの課題や自己の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を活かした攻防を展開してゲームができるようにする。	○	○	○	○	a：技能の段階に応じて、作戦を立てて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。 b：身につけた個人的技能や集団的技能を高め、新たに身につけた技能で攻防を展開してゲームをすることができる。 c：基礎的な技能を身につけ，ゲーム中の，オフェンス・ディフェンスなどの具体的な攻防の場面を想定して，互いに協力して，有効な動きを身につけることができる。 d：ルールを把握している。	受講態度や行動の観察 技術観察 実技テスト レポート
1学期 2学期	平泳ぎ ソフトバレーボール	自己の能力に応じて主に背泳の技能を高め、早く泳いだり、続けて長く泳いだりすることができるようにする。	○	○	○	○	a：課題解決に必要な、練習や競泳の方法を選んだり、見つけたりしている。 b：競技のルールを守り、勝敗の結果を受け入れようとする。 c：身につけた個人的技能や集団的技能を高め、新たに身につけた技能で攻防を展開してゲームをすることができる。 d：ルールを把握している。	受講態度や行動の観察 技術観察 実技テスト レポート
2学期	バレーボール バスケットボール ニュースポーツ テニス	チームの課題や自己の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を活かした攻防を展開してゲームができるようにする。	○	○	○	○	a：技能の段階に応じて、作戦を立てて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。 b：身につけた個人的技能や集団的技能を高め、新たに身につけた技能で攻防を展開してゲームをすることができる。 c：基礎的な技能を身につけ，ゲーム中の，オフェンス・ディフェンスなどの具体的な攻防の場面を想定して，互いに協力して，有効な動きを身につけることができる。 d：ルールを把握している。	受講態度や行動の観察 技術観察 実技テスト レポート

※令和３年度以前入学生用

3学期	持久走	自己の能力に応じて持久力を高め、記録の向上を目指す。	○	○	○	○	a: 速く・長く走るために必要な体力を高めるための効果的な練習法やトレーニングについて,正しい知識をもつことができる。 b: 速く走るための動きなどの自己や仲間の課題を発見し,合理的･計画的な解決に向けた取り組みを工夫し,自己の考えたことを他者に伝えることができる。 c: 長距離走：自分にあったペースを維持して一定の距離を走り通し,タイムを短縮したり競走したりすることができる。 d: 速く・長く走るために必要な体力を高めるための効果的な練習法やトレーニングについて,正しい知識をもつことができる。	受講態度や行動の観察 技術観察 実技テスト レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:運動の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。